

屋上・壁面緑化用のコケの栽培

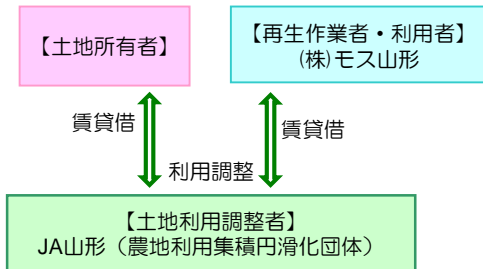
取組主体	・株式会社 モス山形	地区名	・高瀬地区・楯山地区
解消面積	・6.0ha(経営全体10.0ha)	取組年次	・平成9年～
解消内容	・コケ植物の栽培	放棄の理由	・条件不利地、高齢化など
取組のきっかけ	・環境問題への取り組みと耕作放棄地の活用	荒廃の程度	・雑草の繁茂、一部に雑木が侵入し原野化

取組の概要

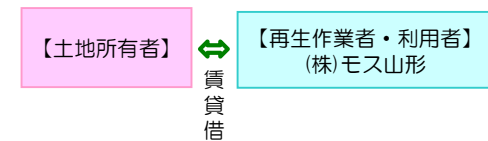
- (株)モス山形は、コケを活用した緑化資材の商品化に取り組んでいます。二酸化炭素の増加による地球温暖化、緑の喪失による都市部のヒートアイランド現象を緩和させる切り札として、コケ緑化システムを社会に提案している企業です。
- 屋上(屋根)・壁面緑化用のコケを栽培するために耕作放棄地を解消し、コケ植物の生産地として活用しています。栽培管理には18名の地元の農家を雇用しています。
- コケ植物は、乾燥に強く雨水のみで生育し、根を生やすための土壌や肥料も不要であるため、管理に手がかからず、軽くて丈夫な極めて優れた緑化植物です。コケ植物の栽培地として、多くの転作田、中山間地域の耕作放棄地を活用して、コケ植物を生産できます。また、コケ栽培は軽作業のため、高齢者でも生産・管理が可能なことから、農家を含む幅広い年齢層の雇用を生むことで、農業の活性化につながることを期待されます。

取組体制

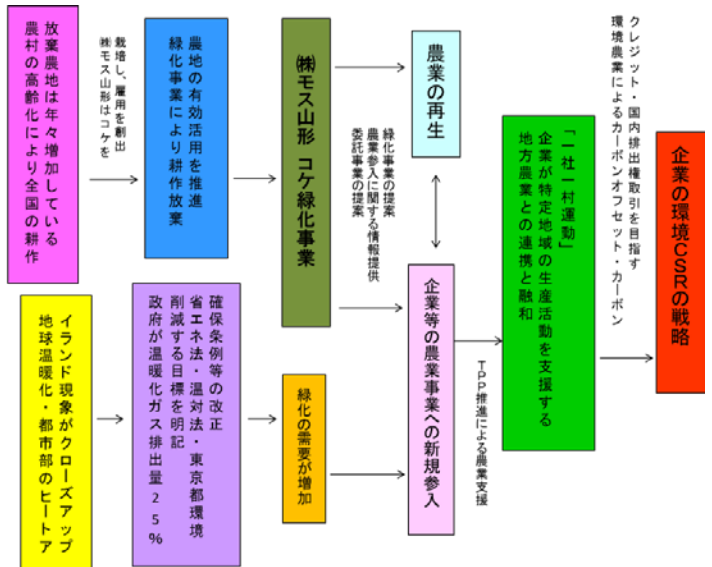
【パターン1】



【パターン2】



企業のCSRによる農業支援ビジネスモデル



きっかけは？

コケ緑化システムを社会に提案している企業が、中山間地域の耕作放棄地を活用して、コケ植物の生産に取り組みました。

活用した支援策

- 農山漁村活性化プロジェクト支援交付金 (小規模農林地等保全整備) (国) (H21)
- 農林水産業創意工夫プロジェクト支援事業 (県) (H21～) など

課題と解決

引き受け
手 確 保

・取組主体は中山間地域の耕作放棄地、休耕地を活用してコケの栽培に取り組んでいる企業で、コケ栽培の適地を求めています。

利用調整

・貸借は、JAやまがたが取組主体と土地所有者間の利用調整を図る場合と、取組主体が直接土地所有者と利用調整を行い契約を結ぶ場合があります。

再生作業

・伐採、草刈は取組主体の自主作業とし、抜根や整地作業は外注としました。

導入作物

・屋上や壁面緑化用のコケ。

販 路

・自社販売及び自社施工に用います。

取組の成果等

- 山村荒廃の要因となる耕作放棄地も地域資源です。それを利用してコケ栽培を行うことが温室効果ガスの排出削減・カーボンオフセット・カーボンクレジットに利活用されることになれば、企業の投資が拡大し耕作放棄地の活性化がはかられ、里地里山の環保全ができ雇用の創出と農家の収入の安定性に貢献できます。企業特定地域の生産活動を支援する「一社一村運動」の輪が広がることも期待できます。【(株)モス山形】
- (株)モス山形の取り組みは、周りの農地所有者が耕作放棄地を再生するにあたり、よい刺激になっています。さらに地域の雇用促進や環境緑化へもつながる取り組みとして今後とも期待します。【山形市農政課】

解消状況

再生前



再生中



整地・畝作り

再生後



出荷



遮光ネットで被覆



コケ吹付

連絡先：山形市農政課（電話番号：023-641-1212）